



『とった便は、どこに置いておけばいい？』



大腸がん検診では、2日分の便を健診日に持参します。健診案内に「採便は受診日の4日前から2日分（2回）」とあった場合、さて、とった便を健診日までの間どこに保存しておけばよいのでしょうか？

なぜ“冷暗所”に？

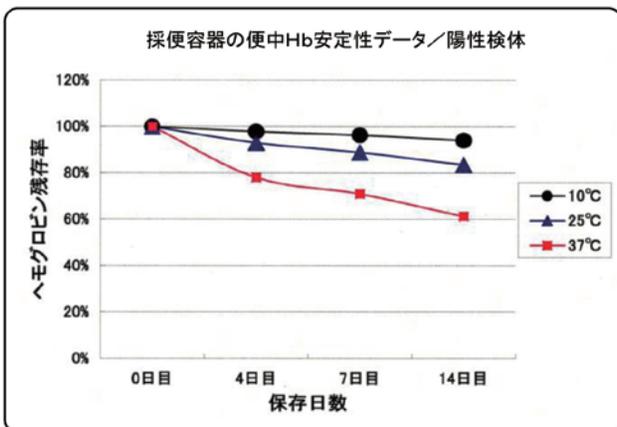
検査の説明用紙には「採便後は冷暗所で保存」とあります。大腸がん検診では便の中の血液（ヘモグロビン）の有無をチェックしますが、採便後の容器を高温下に置くほど、また時間がたつほど、便中のヘモグロビンが減ってしまうことがわかっています（図）。当センターでは100 ng/ml を超えた場合を要精密検査としていますが、長時間高温下に置かれると、「要精密検査」となるはずの便が、健診日当日には「異常なし」の結果になるということが起こり得ます。

とった便は早く検査すること、保存する際は冷たくひんやりした場所で、できれば冷蔵保存が望ましいというわけです。

“冷暗所”って例えばどこ？
ずばり・・・『冷蔵庫』です。

これから夏を迎えるにあたり、便の保存には特に注意が必要です。京都は本当に暑い。北海道から引越してきた友人が「夏を越せる自信がない」と嘆いたのはまだ5月のことでした。昨年の京都市の気温を見ると、5月から9月下旬までは平均最高気温が25℃を超えています。風通しの悪い建物内の温度は外気温を上回ることもめずらしくありません。

「とった便はどこに置いてる？」と聞くと、「トイレ」や「引出し」が多く、「かばんの中」という方もおられました。いったい何℃くらいなのでしょう。保存場所のおすすめは何と言っても『冷蔵庫（冷蔵室）』です。「…いやです」という声も聞こえてきそうですが、清潔な袋に入れて冷蔵保存していただきたいと思っています。冷蔵室の扉の一部を食品以外のもの（薬やアロマオイルなど）を入れる場所と決めて使うのもおすすめです。そのようなスペースがあれば、少しは入れやすいかもしれません。家族はほぼ開けないから野菜室の隅にこっそり入れている、という方もおられます。いかがでしょうか。



測定機種：OC センサー-DIANA OC-ヘモディアオートⅢ
(栄研社内データ)



気象庁 気象統計情報より